

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム	2022年1月15日 ～ 4月10日	20世紀最大の芸術運動であったシュルレアリスムは芸術の枠を超えて、人々の意識の深層にまで影響力を及ぼしました。一方革新的な意匠を生み出そうとするモードの世界には、 シュルレアリスムに通底するような斬新なアイデア を垣間見ることができます。本展は 奇想 をテーマに、16世紀のファッションプレートから現代アートに至るまで幅広く展覧し、 モードの世界にセンセーションをもたらした美の表現に迫ろうとするもの です。
建物公開2022 アール・デコの貴重書	2022年4月23日 ～ 6月12日	旧朝香宮邸の魅力を紹介する、年に一度の建物公開展です。今回は、当館所蔵の1920-30年代の アール・デコ期の貴重書 に着目します。本館では、 カーテンを開けて自然光を採り入れるとともに、家具や同時代の調度等を用いて、往時の情景が思い描けるような空間演出 を行います。新館では、旧朝香宮邸やアール・デコに関する雑誌や書籍等の貴重書を展示します。 華やかなショーウィンドウの写真集、博覧会やインテリアの特集雑誌、絵本や楽譜 等を通し、装飾性豊かなアール・デコの世界を紹介します。
蟻川実花展	2022年6月25日 ～ 9月4日	写真家の枠を超えて映画、デザイン、ファッション等ジャンルにとらわれることなく多彩に活躍する 蟻川実花による個展 です。旧朝香宮邸の 独特な建築を活かしたインスタレーション をご覧ください。本展のために撮りおろした 新作の写真や映像作品 を含め、各室ごとに趣向を凝らした演出が見どころです。「 蟻川による装飾展 」として当館全体の新たな見方を提示するものです。
旅と移動展	2022年9月23日 ～ 11月27日	庭園美術館の礎をつくった 朝香宮夫妻の100年前のフランス旅行 を手がかりに、 1920-30年代の人々の旅心 をかきたてた新たな視覚世界を、 アール・デコ期のポスター や同時代の日本の観光ポスターを中心に紹介します。さらにコロナ禍により、リアルな旅が停止した2020年からの数年間を振り返り、 旅 という非日常体験が私たちにもたらす意味や可能性を、 現代作家たちのアプローチ を通して再考します。
機能と装飾 モダニズムとモダニティ	2022年12月17日 ～ 2023年3月5日	1910-30年代におけるヨーロッパ及び日本 の建築家やデザイナーたちの活動を通じて、従来のモダニズム史観を再考します。 消費社会・大衆社会の時代 においては、機能性や合理性が求められる一方で、「 装飾 」に 大きな価値が与えられていました 。本展では、流派を超えた当時の作家たちの関係性の環に着目し、 機能主義と装飾 といったありふれた 二項対立に収まらない、ジャンルを横断した活動を俯瞰的に紹介 します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都庭園美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都庭園美術館

〒108-0071 港区白金台5-21-9

電話 03-3443-0201 <https://www.teien-art-museum.ne.jp/>

【開館時間】10時～18時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※新型コロナウイルス感染防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都江戸東京博物館

*大規模改修のため、令和4年4月1日～令和7年度中(予定)まで全館休館いたします。
なお、一部の事業は、休館期間中も他会場で実施する予定です。

事業名	会期	概要
えどはくカルチャー	年12回程度開催	「江戸東京の歴史と文化」に関する調査研究をわかりやすく解説する講座です。休館中につき、他会場にて開催します。 会場：江戸東京たてもの園、 東京都歴史文化財団の施設等
移動博物館	ワークショップ 年4回程度 出張展示 年1回	授業などの一環として、出張ワークショップや出張展示を実施します。 会場：都内の小中学校等
伝統芸能公演	年4回程度開催	東京の文化の源流にある伝統文化芸能を次世代へ継承するため、伝統芸能公演を開催します。休館中につき、他会場のホールにて開催します。 会場：東京都歴史文化財団の施設等

※この内容は2022年3月3日現在のものです。
詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、実施日時等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
特別展 縄文2021—縄文のくらしとたてもの—	2021年10月9日 ～2022年5月29日	今からおよそ1万6000年前から1万年以上にわたって続いた縄文時代。この長い時代を生きた縄文人の暮らしとは、どのようなものであったのでしょうか？本展では、園内に 縄文時代の住居を復元 し、展示公開している 復元建造物のルーツ に迫ります。また出土資料を元に 復元した生活道具類を展示 し、 縄文時代の暮らしぶり を紹介します。
こどもの日イベント	2022年5月4日、5日	ゴールデンウィーク 期間中の2日間、 こどもの日にちなんだ企画 を実施します。鯉のぼりがそよぐ広場では、大人も子供も一緒に 昔のあそび を楽しめます。また、昭和の商店建築や茅葺きの民家等、園内の様々な時代や様式のたてものを活用して、 昔の暮らしを体験できる催し を行います。
特別展 江戸東京博物館コレクション展	2022年6月25日 ～2023年2月12日	2022年4月より改修休館に入る 江戸東京博物館のコレクション を元に、 江戸東京の歴史や生活文化 を紹介する展覧会です。現在はそのコレクションの一部となっている、江戸東京たてもの園の前身にあたる 旧武蔵野郷土館の資料 も合わせ、東京の変遷をたどります。
夜間特別開園 下町夕涼み	2022年8月6日、7日	開園時間を延長 し、 夏の夕べの過ごし方を体感 していただける催しです。園内の「下町中通り」では、提灯や建物の灯りがともる復元建造物の商店が 下町の夏の風情 を感じさせます。伝統的な日本の民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
夜間特別開園 紅葉とたてものライトアップ	2022年11月26日、27日	紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長 して行う催しです。園内の色付く木々と歴史的建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中にはあたたかな灯りがともる、昼間とは趣の異なる 夜のたてもの園を散策 していただけます。 大正時代のガス灯点灯、民家の囲炉裏や洋館の暖炉 に火を入れる催し等、昔のあかりやぬくもりを体感いただけます。
江戸の正月を楽しもう	2023年1月2日、3日	正月2日、3日に 入園無料 の特別開園を行い、皆様をお迎えします。園内の復元建造物に しめ飾りや門松 を立て、 獅子舞や太神楽 等の新年にふさわしい 伝統芸能 をご覧いただけます。また、江戸時代より庶民に親しまれていた縁起物の「宝船絵」（印刷物）を、先着順で配布します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 <https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開園時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
成人の日はたてもの園へ	2023年1月9日	ハレの日の記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶたてもの園で 新成人 をお祝いする催しです。人力車での園内めぐりの他、復元建造物である写真館内のスタジオでは、お手持ちのカメラで 記念撮影 ができます。 新成人は無料 でご入園いただけます。
特別展 日本のタイル100年	2023年3月11日 ～8月20日	幕末から明治期にかけ、西洋建築が日本で普及をはじめた際、内外装の素材となる「タイル」も伝来しました。当初は「装飾煉瓦」等様々な名称で呼ばれていましたが、普及が進むなかで不便が生じ、 1922年(大正11年)4月に開かれた全国タイル業者大会で名称が「タイル」に統一 されました。それから100年を記念して、 日本におけるタイルの歴史とそれを通じて見える暮らしや建築の変化 を紹介する展覧会です。
たてもの園フェスティバル	2023年3月27日、 28日	小金井公園にある1700本の桜のつぼみがほころぶこの時期、子供から大人まで一緒に楽しめる催しを行います。 体を使って建物の形を表す「けんちく体操」 をはじめ、 伝統工芸の実演や職人の技を体験する催し 、アーティストによるパフォーマンス等様々な事業を行います。開園記念日の 3月28日は無料 でご入園いただけます。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 <https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開園時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
TOPコレクション 光のメディア	2022年3月2日 ～6月5日	TOPコレクションより、19世紀中葉のウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットから、20世紀初頭のモホイ＝ナジ、マン・レイらを経て現代まで、選りすぐられた珠玉の名品を通じて、写真の抽象表現を紹介します。 光を直接作品化するカメラレス・フォトグラフィの初期写真から現代写真に至るまでの系譜 と、ストレート写真における、 光そのものを写真家たちがどのように捕らえてきたのか を示す作例をご覧ください。
写真発祥地の原風景 幕末明治のはこだて	2022年3月2日 ～5月8日	幕末から明治時代の、箱館から函館へと移り変わった北の玄関口「はこだて」 を展示室に再構築し、時間と空間の両面から北の大地の旅へ誘います。 ロシアを経由し日本にもたらされた知られざる写真発祥の歴史について、北海道初の写真師の作例 とともに紹介。 デジタル技術で失われた写真の持つ物質性の魅力を初期写真の技術プロセスとともに理解できる展示 です。
TOPコレクション 前衛写真	2022年5月20日 ～8月21日	日本の前衛写真はシュルレアリスムや抽象美術の影響を受け1930年後半から1940年代までの間に全国各地のアマチュア団体を中心に勃興しました。短期間の潮流であったことから、その活動は長らく検証がなされていませんでしたが、近年各地の美術館により研究が進められてきました。本展では、 同時代に流行した前衛絵画との関係性を含め、日本の前衛写真が戦後の主観主義やシュルレアリスム運動とどのように関わっていったのか を詳らかにしていきます。
メント・モリと写真	2022年6月17日 ～9月25日	「メント・モリ」をテーマに、 写真と死について考察する 展覧会。ラテン語で「死を想え」という警句であるメント・モリは、古代より芸術作品の題材として取り上げられてきましたが、印画紙の中に時間をとどめる写真も例外ではありません。本展では 東京都写真美術館所蔵の珠玉の写真・映像作品を織り交ぜながら、人々が死(=見えない世界)をどのように見つめてきたか を探っていきます。
光学を超えて	2022年8月9日 ～10月10日	当館の映像・光学装置、1960～70年代の初期コンピュータで生成されたイメージ、そして近年のコンピュータで制作された作品を 展覧 することを通じて、東京都写真美術館の映像資料の今日的な解釈や意義を考察いたします。出品作家は、 藤澤正樹、木本圭子、タマシュ・ヴァリツキー 他を予定。既にある「ものの見方」と「イメージの作り方」に対する作家たちの挑戦を紹介します。
日本の新進作家 vol.19	2022年9月2日 ～12月11日	写真・映像の可能性に挑戦する 創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘し、新しい創造活動の展開の場 として2002年より開催している展覧会。第19回目となる今回は、写真・映像イメージの持つ 「触覚性」「テクスチャ」 に焦点を当て、 オブジェやデータとしての、今日的な写真・映像の在り様 を探ります。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話 03-3280-0099 <https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
野口里佳	2022年10月7日 ～2023年1月22日	水中や高地、宇宙といった未知の領域と人間との関わりをテーマに、見る者の想像を誘う作品表現で知られる現代美術作家・野口里佳(1971-)。この世界に満ちる無数の小さな謎の探求を通して、見る者の感覚を解き放ちます。本展は「飛ぶこと」をテーマとした近作および新作を含め、写真と映像を中心としたインスタレーションによって紹介する予定です。
恵比寿映像祭 2023	2023年2月3日 ～3月26日 (*3F展示室以外 は2月3日～2月19 日)	過去14回実施の「恵比寿映像祭」で培った実績と国内外のネットワークを活用して、将来性の高い日本の優れた映像作家による本展のための新作を展示上映し、それを国内外で発表していくことで国際発信力の高い事業を展開いたします。また、3F展示室の会期を45日間に延長し、より多くの皆さまに映像文化の魅力をお伝えします。
深瀬昌久	2023年3月3日 ～6月4日	第二期重点収集作家の一人、深瀬昌久(1934-2012)の個展。1960～70年代という日本写真の黄金時代に、荒木経惟や森山大道らと時代を同じくして、新しい表現を切り開いた作家の活動を紹介します。東京都写真美術館蔵の作品をベースに、深瀬昌久の代表作により構成。魅力的な人物像を浮き彫りにしながら、表現の特異性を検証していきます。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話 03-3280-0099 <https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。
最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都現代美術館(1)

事業名	会期	概要
生誕100年 特撮美術監督 井上泰幸展	2022年3月19日 ～6月19日	日本の映像史に重要な位置を占める「特撮(特殊撮影の略称)」領域に大きな足跡を遺した特撮美術監督、井上泰幸の個展を開催します。本展では、井上の遺したスケッチ、デザイン画、絵コンテをはじめ、記録写真や資料、撮影で使用したミニチュアやプロップ(小道具)、当時を再現した大型撮影セット等を展示します。それらを通して、作家の功績と日本の特撮映像史を俯瞰し、次世代への創造的なインスピレーションを喚起することを目指します。
吉阪隆正展 ひげから地球へ、パノラミル	2022年3月19日 ～6月19日	ル・コルビュジエに学び、戦後日本の建築に多大な影響を与えた建築家・吉阪隆正の個展。代表作に吉阪自邸、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館、アテネ・フランセ、大学セミナーハウスなどがあり、彫塑的なコンクリートの表現を持った建築で知られています。また建築の枠にとどまらず、教育者・登山家・冒険家・文明批評家としても活躍し、「不連続統一体」「発見的方法」「有形学」といった独自の理論は多くの建築家や表現者に影響を与えてきました。本展ではスケッチ・図面・模型・写真・映像に加え、吉阪のこぼれを紹介いたします。
MOTコレクション 光みつる庭／途切れないささやき	2022年3月19日 ～6月19日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、様々な組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。今期は会場をゆったりと辿りながら多彩な作品を味わう2部構成でお送りします。複数の作家による絵画作品や、当館のコレクションの核ともいえる版画作品、舟越桂のまとまったコレクションなどをのびやかに展示します。
ジャン・ブルーヴェ	2022年7月16日 ～10月16日	20世紀の工業デザインと建築に大きな影響を与えたジャン・ブルーヴェ(1901-1984)の大規模な展覧会。意匠から生産までを総合的に捉え、技術者や職人との協働で、家具から建築まで幅広く手掛けたブルーヴェは、自らを建築家でもデザイナーでもなく、「建設家」と称しました。本展では、ブルーヴェが制作したオリジナルの家具およそ100点、ドローイング等の資料に加え、移送可能な建築物も展示し、その仕事を網羅的に紹介いたします。
MOTアニュアル2022	2022年7月16日 ～10月16日	異なる文化や表現領域が混合する東京に拠点を置く美術館ならではの視点から、現代美術の一側面を切り取るグループ展のシリーズ。2022年は、大久保あり、工藤春香、高川和也、良知暁を迎え、時代や社会から忘れられ見えないとされている存在にどのように輪郭を与えることができるのか、私たちの生活を取り巻く複雑に制度化された環境をどのように解像度をあげて捉えることができるのかを共に考えます。
MOTコレクション	2022年7月16日 ～10月16日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、様々な組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都現代美術館 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-4111 <https://www.mot-art-museum.jp>

【お問い合わせ受付】10時～18時(美術館開館日)

【開館時間】10時～18時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概要
TOKYO ART BOOK FAIR 2022	2022年10月27日 ～10月30日	TOKYO ART BOOK FAIR 2022では、独創的なアートブックやZINE（自主制作出版物）を制作する国内外の出版社、ギャラリー、アーティストら出展者が会場である東京都現代美術館に集結し、それぞれの印刷物の魅力を直接のコミュニケーションを通して来場者へと伝えます。ひとつの国や地域の出版文化に焦点を当てる企画「Guest Country」は、フランスをフィーチャー。老舗から新進気鋭の出版社、様々な分野で活躍するアーティストやデザイナーらを、展示やトークイベントを通して紹介し、フランスの豊かな出版シーンをひもときます。
MOTコレクション	2022年11月3日 ～2023年6月予定	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、様々な組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。
ウェンデルン・ファン・オルデンボルフ	2022年11月12日 ～2023年2月19日	ウェンデルン・ファン・オルデンボルフ（1962年オランダ生まれ、ベルリン在住）は、映像インスタレーションを主なメディアに、異なるバックグラウンドをもつ個人やコミュニティと協働する作品の生成過程を通じて、現在のオランダと関わる歴史的問題や社会問題を広く考察してきました。日本／アジア初の個展となる本展では、ファン・オルデンボルフが日本で制作する新作を中心に、これまでの代表作を展示し、2022年現在の日本社会が関わる問題に対する多声的な問いかけと応答が共鳴する展示、考察の場とします。
クリスチャン・ディオール、 夢のクチュリエ	2022年12月 ～2023年6月予定	パリ、ロンドン、上海、NY、ドーハで成功を収めた本展では、未来を見据えた創設者クリスチャン・ディオールから70年以上も受け継がれる創作への情熱、さらにメゾンと日本との強い絆に焦点を当て、新たな空間デザインのもと、初公開のアーカイブピースを含むディオールの豊かな文化遺産を紹介いたします。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館 広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-4111 <https://www.mot-art-museum.jp>

【お問い合わせ受付】10時～18時（美術館開館日）

【開館時間】10時～18時 【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始
※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都渋谷公園通りギャラリー(1)

事業名	会期	概要
Museum of Mom's Art ニッポン国おかんアート村	2022年1月22日 ～4月10日	ゲストキュレーターに作家・編集者・写真家の都築響一と下町レトロに首っ丈の会を迎え、2000年代初頭から「おかんアート」と呼ばれて密かに注目されてきた、「母」たちのつくる手芸作品の大小合わせて1,000点以上を紹介する展覧会です。専門的な美術教育とはかかわらない作り手による創作の場や時間、その表現や魅力に迫ります。さらに、「おかん宇宙のはぐれ星」と題した都築響一特選の3名の作家による特別展示も行います。
線のしぐさ	2022年4月23日 ～6月26日	「線」をキーワードに、日本とアメリカのオール・ブリュットの作品を紹介する展覧会です。人物や原始生物、文字等の様々な対象に着想を得たとされるドローイングをはじめ、ワイヤーを用いた立体作品、木彫、ファイバー・アート等、多様な表現形態の作品を通じて、オール・ブリュットの豊かな線の表現を展覧します。関連イベントでは、日米の作家、作品の交流をはじめ、両者の比較に基づいた幅広い作品への理解促進のためのプログラムを行います。
オール・ブリュット巡回展 かわるかたち	【東京都渋谷公園 通りギャラリー】 2022年7月16日 ～9月25日 【都内巡回会場】 2022年10月～12 月	2020年、2021年に開催した「オール・ブリュット特別展」に続き、オール・ブリュットの作家や作品を広く東京都内で紹介する巡回展。作品とその「かたち」の成り立ちに着目し、平面絵画や立体造形等、形状の異なる様々な素材の作品がもつ、美術の既成概念にとられない表現のかたちと、そこに宿る創造の根源的な魅力に迫ります。純粋に創作を希求する心のままに素材に加えられた行為の痕跡を見つめ、創造の起源を感じ、そのひとつひとつの変化を味わう展覧会です。
レター/アート/プロジェクト 「とどく」成果発表展	2022年10月8日 ～12月18日	レター/アート/プロジェクト「とどく」は、手紙やはがきやビデオレター等、様々な形の間接的なやりとりを通じ、「今ここにいるわたし」と「今ここにいないあなた」が繋がるアートプロジェクト。2020年より3年にわたって展開された「とどく」を総括する展覧会です。アーティストと協働者の間で繰り広げられた交流プロセスや、全体を俯瞰することのできる映像資料等に加え、3名の参加アーティストが、本プロジェクトから生まれた新作を発表します。
オール・ブリュット ゼン&ナウ vol.2 理想宮からの眺め	2023年1月21日 ～4月9日	国内外のオール・ブリュットの動向において、長く活躍を続ける作家と、近年発表の場を広げつつある作家を、様々な角度から紹介する展覧会シリーズ「オール・ブリュット ゼン&ナウ」。2回目となる本展では、東京の中心地のひとつである渋谷という風土に言及し、都市とオール・ブリュットという視点で、オール・ブリュットが都市生活者にとっても身近な芸術文化であることを広く伝えます。
交流プログラム	通年	様々な背景を持つ参加者が、他分野にまたがるアーティストや専門家と交流することができる各種プログラム（トーク、ワークショップ、パフォーマンス、公開制作、アーカイブ映像上映等）を通じ、アートを通して社会における多様性や共生を考える機会を創出します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
 詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。
 ※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1階

電話 03-5422-3151 <https://inclusion-art.jp>

【開館時間】11時～19時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都渋谷公園通りギャラリー(2)

事業名	会期	概要
交流プログラム レター/アート/プロジェクト 「とどく」	2020年12月 ～2023年3月	レター/アート/プロジェクト「とどく」は、手紙やはがき、ビデオレター等、様々な形の間接的なやりとりを通じ、「今ここにいるわたし」と「今ここにいないあなた」が繋がるアートプロジェクトです。3人のアーティストがホストとなり、絵や映像、彫刻等を駆使し、様々なバックグラウンドを持つ多様な人々と手紙のやり取りを重ねながら共同でアート作品を作り上げていきます。
交流プログラム ワークショップ 「にょいと辿る、わたしの記憶」	【ワークショップ】 2022年5月7日、 14日、21日、6月 11日 【報告展示】 2022年6月12日 ～26日	“匂いと記憶”のアーティストの井上尚子さんを講師に迎え、見える人、見えない人、聞こえない人、聞こえる人、 みんなで「にょい」を鑑賞し、個々が感じる「にょいの記憶」について語り合い、共鳴や違和感を楽しみながら、今まで気がつかなかったことに「にょい」から想像を膨らませるワークショップ です。参加者それぞれが持参した「人生で大切なもの」や「忘れがたいもの」の「にょい」を鑑賞・分析し、その「にょい」から回想される記憶をもとに作品制作を行い、展示します。
交流プログラム Kids meet 02 「おもいつきの声と色」	【ワークショップ】 2022年6月4日、 5日 【報告展示】 2022年7月9日 ～31日	様々なバックグラウンドを持つ子供たちが、アートの体験を通じて偶然の出会いや想像もできないものごとと巡り合い、対話する機会を創出する 子供のプログラム「Kids meet」シリーズ。第2回は、おもいつきの声と色（小島聖さん、平松麻さん）を講師に迎え、今回のワークショップのためにつくられた物語に参加者が「絵」を添え、講師と協力して紙芝居を作り上げ、発表します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1階

電話 03-5422-3151 <https://inclusion-art.jp>

【開館時間】11時～19時 【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (1)

会場:TOKAS本郷

事業名	会期	概要
TOKAS-Emerging 2022	第1期 2022年4月2日 ～5月8日 第2期 2022年5月21日 ～6月26日	これまでに300名以上の新たな才能を紹介してきた若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム。 142組の応募から日本在住35歳以下の作家6名 を選出しました。平面や立体、映像、インスタレーション等、2期に分けてそれぞれが 個展を開催 します。
トーキョーアーツアンドスペースレジデンス2022成果発表展	2022年7月9日 ～8月14日	2006年より実施しているレジデンス・プログラム参加作家による成果発表展。 2021年度に二国間交流事業でヘルシンキに派遣した作家やTOKASレジデンス(東京都墨田区)に滞在した作家たちが、リサーチを経て発展させた作品を紹介 します。
TOKAS Project Vol. 5	2022年8月27日 ～10月10日	多文化的な視点を通じ、アートや社会等、様々なトピックについて思考するプログラム。 台北との二都市間交流事業として、TOKASレジデンス・プログラムで招聘・派遣した作家を中心とした展覧会を開催 します。
OPEN SITE 7	第1期 2022年10月22日 ～11月27日 第2期 2022年12月10日 ～2023年1月22日	アートにまつわるあらゆるジャンルを対象とした企画公募プログラムです。 新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指 します。選出された展示とパフォーマンス企画の他、TOKASによる推奨企画や普及プログラム等を実施します。
ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 5	2023年2月4日 ～3月19日	若手アーティストの発掘、育成、支援等を行ってきたTOKASの 様々なプログラムに参加後、注目すべき活動を展開しているアーティストによるグループ展 を開催します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

電話 03-5245-1142 <https://www.tokyoartsandspace.jp/>

【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

《トーキョーアーツアンドスペース本郷》

〒113-0033 文京区本郷2-4-16

【開館時間】11時～19時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (2)

会場:TOKASレジデンシー

事業名	会期	概要
オープン・スタジオ 2022-2023	2022年7月15日 ～17日 2022年11月11日 ～13日 2023年3月17日 ～19日	TOKASレジデンシー（東京都墨田区）では通常年間約50組のクリエイターが滞在し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月には クリエイターの滞在中の活動や、制作した作品を公開 します。トークイベントや、スタッフによる作品解説、施設見学ツアーも行います。
夏の子どもワークショップ	2022年8月	アーティストを招き、 小学生以上を対象とした制作ワークショップ をTOKASレジデンシーのスタジオを使って開催します。

会場:東京都現代美術館

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 受賞記念展	2022年3月19日 ～6月19日	東京都とトーキョーアーツアンドスペースは海外での活動に意欲がある中堅アーティストを対象に2018年度に「 Tokyo Contemporary Art Award 」を創設しました。 第2回の受賞者、藤井光と山城知佳子による最新作を含めた作品を東京都現代美術館で個展形式で展示 します。
Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023 受賞記念展	2023年3月18日 ～6月18日	東京都とトーキョーアーツアンドスペースが創設した中堅アーティストを対象とした「Tokyo Contemporary Art Award」。 第3回の受賞者、竹内公太と志賀理江子による展覧会を東京都現代美術館で開催 します。

※この内容は2022年3月3日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。
詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話 03-5245-1142 <https://www.tokyoartsandspace.jp/>
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

《トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー》

〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F(オフィス501)
※オープン・スタジオは11時～17時開催、ワークショップは開催時間未定
※オープン・スタジオ等イベント開催時のみ一般公開
※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。
最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展 スコットランド国立美術館 THE GREATS 美の巨匠たち	2022年4月22日 ～7月3日	世界有数の西洋絵画コレクションを有するスコットランド国立美術館から、ラファエロやベラスケス、レンブラント、モネ、ゴッコン等、ルネサンス期から19世紀後半までの西洋絵画の巨匠たちの作品を展示します。
都美セレクショングループ展 2022	2022年6月11日 ～7月1日 *グループ毎に 会場を分けて開催	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、当館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。2022年度は、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
特別展 ボストン美術館展 芸術×力	2022年7月23日 ～10月2日	古今東西の権力者たちは、その力を示し、維持するために芸術の力を利用しました。本展では、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本など様々な地域で生み出された約60点の作品を通して、力とともにあった芸術の歴史を振り返ります。
企画展 フィン・ユールとデンマークの椅子	2022年7月23日 ～10月9日	デザイン大国として知られるデンマーク。椅子をテーマに、デンマーク家具デザインの変遷をたどるとともに、モダン家具の黄金期を築いたフィン・ユールに焦点をあて、その独創的なデザインが生み出された背景を探ります。
特別展 展覧会 岡本太郎	2022年10月18日 ～12月28日	1970年日本万国博覧会のテーマ館《太陽の塔》で知られ、今日でも幅広い世代の人々を魅了する芸術家・岡本太郎（1911-1996）。作家の芸術人生を振り返る、大回顧展を開催します。
上野アーティストプロジェクト 2022	2022年11月19日 ～2023年1月6日	公募団体展とともに歩み続けてきた東京都美術館の歴史と伝統を踏まえ、毎年魅力的な企画テーマを設定し、公募団体などで活躍している現代作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第6弾です。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで）

【休館日】第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
コレクション展	2022年11月19日 ～2023年1月6日	「上野アーティストプロジェクト」のテーマにあわせて、東京都江戸東京博物館等、都立美術館、博物館の作品を活用し、上野を訪れる美術愛好者に 東京都のコレクションを積極的に紹介 します。
特別展 エゴン・シーレ展	2023年1月26日 ～4月9日	19世紀末ウィーンを代表する画家 エゴン・シーレ （1890-1918）は、28年という短い生涯のなかで数多くの作品を残し、独自の表現を追求しました。本展では、 ウィーンのリオポルド美術館の所蔵品を中心に、シーレの初期から晩年までの絵画、素描 の他、ウィーン世紀末の芸術家たちの作品を紹介し、画家の生涯とその作品、同時代の芸術の諸相を展観します。
東京都美術館×東京藝術大学 とびらプロジェクト	通年	美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト「とびらプロジェクト」 。毎年広く一般から募集するアート・コミュニケータ「とびラー」と、 学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家がともに美術館を拠点に、芸術や文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動 を展開しています。年間を通して、一般の方が参加できるプログラムを実施し、2月頃にはフォーラムも開催しています。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日など年間10回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアー です。当館の アート・コミュニケータ(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります 。ガイド個々人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、美術館のホームページにて随時お知らせします。
障害のある方のための特別鑑賞会	特別展ごとに1回	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催 しています。事前申込制で特別展ごとに1回開催し、当館の アート・コミュニケータ(とびラー)が当日のサポート をします。
Museum Start あいうえの	通年	Museum Start あいうえのは 上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境 を創造する「 ラーニング・デザイン・プロジェクト 」です。ファミリー向けプログラム、学校向けプログラム、ダイバーシティ・プログラムを年間を通して開催し、ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を 継続的に支援 していきます。（要事前申込）

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都美術館(3)

事業名	会期	概要
クリエイティブ・エイジング	通年	誰もがクリエイティブに歳を重ねられる社会を目指し、 シニア世代の方々を対象にした参加型の鑑賞 や 異世代交流の機会 、 認知症の症状のある方を対象にしたプログラム 等を企画しています。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京文化会館(1)

事業名	会期	概要
上野 de クラシック	2022年4月～2023年3月(全13回) 2022年4月19日 他	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブル等様々な形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、午後や夜にも開催予定です。 会場：小ホール
創造・楽落らいぶ 一音楽家と落語家の コラボレーション	2022年5月～2023年1月(全5回) 2022年5月19日 他	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立ての公演です。スペシャル版の夜公演は、外国人にも楽しめるイラスト&英語字幕付きで開催予定です。 会場：小ホール
舞台芸術創造事業 歌劇『400歳のカストラート』	2022年6月26日	実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。「カストラート」という特異な存在を通し、現代にも共通する人間の葛藤や悩みを描いて好評を博したオリジナル歌劇を再演します。 企画原案・選曲：藤木大地 脚本・演出・美術：平常(たいらじょう) 音楽監督・作曲・編曲：加藤昌則 出演：藤木大地(カウンターテナー) 他 会場：小ホール
《響の森》コンサート	2022年7月29日、 2023年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。 指揮：秋山和慶(7月29日) 出演：成田達輝(ヴァイオリン)(7月29日) 笹沼 樹(チェロ)(7月29日) 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
夏休み子ども音楽会2022 《上野の森文化探検》	2022年8月7日	指揮者の解説を交えた、フルオーケストラによるファミリー向けのクラシックコンサートです。上野地域の美術館、博物館等に無料や割引料金で入場できる特典付きです。 指揮とお話：沼尻竜典 出演：富岡明子(メゾソプラノ) 清水勇磨(バリトン) 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
第20回 東京音楽コンクール	第2次予選 2022年8月20日、 21日、22日 本選 2022年8月26日、 28日、30日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクールです。2022年度は、ピアノ、金管、声楽の3部門を対象に開催します。本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者等を選出し、表彰式を行います。 第2次予選(公開審査) 会場：小ホール 8月20日：声楽部門、21日：ピアノ部門、22日：金管部門 本選(公開審査) 会場：大ホール 8月26日：声楽部門、28日：ピアノ部門、30日：金管部門

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容に変更する場合がございます。

詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京文化会館(2)

事業名	会期	概要
東京文化会館オペラBOX 『子供と魔法』	2022年9月25日	小ホールの特性を活かした 特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会との共催で、東京音楽コンクール入賞者を起用 して開催します。ラヴェル作曲の幻想的なオペラ『子供と魔法』を、ワークショップ参加の子供たちを交えて上演します。 指揮：柴田真郁 演出：岩田達宗 会場：小ホール
第20回 東京音楽コンクール 優勝者&最高位入賞者コンサート	2023年1月9日	第20回 東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会 です。各演奏後の司会者によるインタビューを通し、ソリストの人柄も紹介します。 ソリスト：ピアノ部門、金管部門、声楽部門の各優勝者 又は最高位入賞者 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 会場：大ホール
舞台芸術創造事業 オペラ『note to a friend』	2023年2月4日、5日	実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。今、最も注目を集める作曲家、 デヴィッド・ラングの新作を、ジャパン・ソサエティとの共同制作でお届け します。 原作：芥川龍之介「或旧友へ送る手記」、「点鬼簿」 作曲：デヴィッド・ラング 演出：笈田ヨシ 会場：小ホール
東京文化会館 公開リハーサル	全1回開催 (開催日未定)	通常是非公開の「 音楽創り 」を進めていく過程を 無料公開 します。新たな公演の魅力や楽しみ方を発見できる事業です。 会場：大ホール
東京文化会館 バックステージツアー	全5回開催 (開催日未定)	普段見ることのできない舞台裏等の見学 を通して、当館の歴史と事業を多くの方々に知っていただき、親しみを深めていただく機会を提供します。＜ 舞台編 ＞と＜ 建築編 ＞を開催します。 ツアー内容：大ホール舞台装置や出演者が残したサインの見学、照明の操作体験等 会場：大ホール
ティータイムコンサート	全5回開催 (開催日未定)	昼下がりのひと時、 大ホールのホワイエで行う無料のコンサート です。 出演者：東京都交響楽団員 会場：大ホール ホワイエ

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京文化会館(3)

事業名	会期	概要
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	全5回程度開催 2022年5月29日 他	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタルを開催します。 会場：小ホール
貸館連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちや高齢者等を対象とし、貸館利用者との連携により、オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、バックステージツアー等を行います。 会場：大ホール 他
国内外連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	国内外の文化施設と連携し、若手アーティストの活躍の場の提供等を行います。 会場：軽井沢大賀ホール、カタルーニャ音楽堂、西条市総合文化会館、四日市市文化会館 他
フレッシュ名曲コンサート	全18回程度開催 (開催日未定)	都内の区市町村及び区市町村が指定する団体との共催により実施しています。次世代を担う新進気鋭の音楽家が毎年活躍しています。 会場：都内各ホール
新進音楽家国際キャリアアップ 支援	全1回開催 (開催日未定)	東京音楽コンクール入賞者を起用し、新進音楽家に演奏機会を提供すると共に、海外からも若手アーティストを招聘して公演を行い、交流・研鑽する機会を創出することでキャリアアップの道筋をつくります。
Music Program TOKYO Enjoy Concerts!	全55回以上開催 (開催日未定)	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした事業として、多彩なコンサートを実施します。 ・シアター・デビュー・プログラム ・プラチナ・シリーズ ・シャイニング・シリーズ ・3歳からの楽しいクラシック ・まちなかコンサート

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京文化会館(4)

事業名	会期	概要
Music Program TOKYO Workshop Workshop!	全130回以上開催 (開催日未定)	ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」をはじめとした、 国内外の様々な機関と連携し、多様なワークショップを開催 する他、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また、 社会的弱者等を対象としたプログラムを充実 させ、 地域文化施設と連携 し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・コンビビアル・プロジェクト
Music Program TOKYO Music Education Program	全50回以上開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「創造性」と「参加性」を重視した 音楽教育プログラム を通年で実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・Talk & Lesson ・オペラをつくろう! ・アウトリーチ・コンサート ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:音楽(1)

事業名	会期	概要
リサイタルシリーズ (全3公演)	2022年6月3日、 11月10日他	世界を舞台に活躍する著名アーティストのリサイタル及び小編成の公演シリーズ。2021年度より「VS」と題し、 ピアノ・デュオによる競演をテーマにした公演シリーズを実施 します。 出演：山中千尋、阪田知樹（ピアノ）他 会場：コンサートホール
ボンクリ・フェス2022 "Born Creative" Festival 2022	2022年7月16日	世界的作曲家の藤倉大をアーティストック・ディレクターに迎え、「新しい音に会うフェスティバル」を開催。 メイン・コンサートに加え、無料コンサートやワークショップ、レクチャー等を展開します。2017年度に初開催し好評を得てきた企画の6回目です。 会場：コンサートホール 他
NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2022年8月19日	自作アルバムのグラミー賞ノミネート等、 世界的に注目を浴びるジャズ作曲家、挟間美帆を中心に開催。 出演：挟間美帆 他 会場：コンサートホール
海外オーケストラシリーズ ロンドン交響楽団 演奏会	2022年10月7日	2020年にコロナ禍の影響で中止(延期)となった 巨匠サイモン・ラトルとロンドン交響楽団による来日公演 を行います。コロナ禍における希望や未来に向けたプログラムでお届けします。 曲目：ブルックナー／交響曲第7番 他 出演：サイモン・ラトル（指揮）、 ロンドン交響楽団（管弦楽） 会場：コンサートホール
読売日本交響楽団 演奏会	2022年11月20日	チェコ出身、近い将来、世界の楽壇を担う指揮者の一人であるトマーシュ・ネトビルを指揮に迎え、マーラーの交響曲第1番を中心とする演奏会を実施 します。 曲目：マーラー／交響曲第1番『巨人』 他 出演：トマーシュ・ネトビル（指揮）、 ヴィタリ・ユシュマノフ（バリトン）、 読売日本交響楽団（管弦楽） 会場：コンサートホール
音楽大学オーケストラ・ フェスティバル	2022年12月3日、 12月10日、 2023年3月25日	首都圏の音楽大学とミュージアム川崎シンフォニーホールと連携した共同企画公演 です。12月公演では、各大学のオーケストラが出演し、2023年3月の公演では、各大学の選抜メンバーによる合同オーケストラを結成。未来に羽ばたく人材の交流・育成を行う企画として実施します。 出演：桐朋学園大学&武蔵野音楽大学、 上野学園大学&東邦音楽大学、 井上道義（指揮）、 音楽大学フェスティバル・オーケストラ（管弦楽） 会場：コンサートホール

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:音楽(2)

事業名	会期	概要
シアターオペラvol.16 マスカーニ/ 歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』 & レオンカヴァッロ/ 歌劇『道化師』	2023年2月3日、 5日(2公演)	コンサートホールの特徴を最大限に活かしたシアターオペラ・シリーズの第16回企画。オペラ史に残る名作『カヴァレリア・ルスティカーナ』&『道化師』を全国共同制作作品として上演します。 曲目：マスカーニ／歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』 レオンカヴァッロ／歌劇『道化師』 出演：A・パロンビ、読売日本交響楽団（管弦楽）他 会場：コンサートホール
0才から聴こう!&4才から聴こう! 春休みオーケストラコンサート	2023年3月23日	子供と一緒に音楽を楽しめる演奏会企画。0才児からと、4才児から入れる演奏会をそれぞれ1公演ずつ実施します。日頃、演奏会に行く機会の少ない子育て世代ファミリー向けに演奏曲目も工夫されたオーケストラ公演です。 出演：読売日本交響楽団（管弦楽）他 会場：コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	通年で 公演延べ9回、 講座3回開催	世界で唯一の回転するパイプオルガンを持つ東京芸術劇場ならではの事業。オルガン・コンサートを低廉な価格でお楽しみいただけます。また、聴くだけではなく学びたい方を対象にした講座も開講します。 ナイトタイム・パイプオルガンコンサート（年間5回） ランチタイム・パイプオルガンコンサート（年間4回） パイプオルガン講座（年間3回） 会場：コンサートホール
芸劇オーケストラ アカデミー・フォー・ウインド	通年	プロを目指す若手演奏家を対象とした「アカデミー」として、年間を通じて演奏技術の鍛錬や演奏会、セミナー等の実践的活動を実施します。 会場：リハーサルルーム 他
芸劇×読響ジュニア アンサンブル・アカデミー	通年 (計10日間程度)	演奏経験のある小・中・高校生を対象とし、読売日本交響楽団のメンバーが演奏指導にあたるクリニック・ワークショップです。読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表も予定しています。 会場：リハーサルルーム 他
読響 土曜/日曜 マチネーシリーズ (共催事業)	通年(全20回開催)	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土日の午後に開催するコンサート・シリーズです。 会場：コンサートホール

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:音楽(3)

事業名	会期	概要
コンサートホール活性化事業 (提携事業)	通年	午前中に開催する人気企画「ランチコンサート・シリーズ」や、ヴァイオリニスト前橋汀子による「デイト・コンサート」等、一流の演奏をお楽しみいただけるコンサートを通年事業として展開します。 会場：コンサートホール

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊(1)

事業名	会期	概要
若手育成 芸劇eyes eyes plus	2022年4月～10月	「芸劇が注目する才能たち、」と銘打ち、活動が注目される若手劇団と提携する「芸劇eyes」シリーズ、そしてeyes参加劇団が次の新たなステップとして「いつもと違うをプラスする。」挑戦を行う「eyes plus」シリーズで、若手団体の活動を応援します。 2022年度は、 芸劇eyes「劇団あはひ」「やしやご」、eyes plus「タカハ劇団」「玉田企画」 が登場です。 会場：シアターイースト
TACT/FESTIVAL2022	2022年4月～5月	子供と大人が共に楽しめるフェスティバルとして、毎年春に東京芸術劇場内及びその周辺で開催しています。口にテープを貼った独特のキャラクターが笑いを呼ぶ『Tape Face Show』を招聘予定。現代美術家の東芋とフランスのパフォーマーのヨルグ・ミュラーが「映像&身体」をテーマに新作を披露。コスチュームデザイナーのひびのこづえがダンサーたちとカラフルな世界を展開。さらに、ファミリー寄席、朗読劇やまちなかライブ等、彩り豊かなフェスティバルです。 会場：プレイハウス、シアターイースト、シアターウエスト、ロワー広場 他
イキウメ主催 東京芸術劇場共催 『関数ドミノ』	2022年5月～6月	劇団イキウメ 主宰の前川知大が作・演出を手掛けた、同劇団代表作のひとつ。再演を繰り返す、その度に登場人物や結末が改訂された戯曲は、観客の心を掴んで離さない作品として高い人気を誇っています。 作・演出：前川知大 会場：シアターイースト
芸劇dance 若手提携	2022年6月、 2023年1月	クロスジャンルで新しいダンス表現を目指す注目のダンサー・振付家が率いるダンス・カンパニーとの提携公演を行います。 2022年度は、 三東瑠璃 率いるCo.Ruri Mito、 下島礼紗 率いるケダゴロをラインナップ。 会場：シアターイースト
若手提携公演	2022年4月～2023年2月	人気・実力ともに充実し、日本の演劇界を牽引する若手・中堅劇団と提携公演を行います。 2022年度は、 口口、範宙遊泳 他です。 会場：シアターイースト
マームとジプシー主催 東京芸術劇場共催 『cocoon』—再々演	2022年7月	瑞々しい感性で、演劇界で異色の輝きを放つ若手劇団「マームとジプシー」。作・演出の 藤田貴大 が2013年と2015年に当劇場シアターイーストで上演した『cocoon (コクーン)』を、 プレイハウス に舞台を移して再々演。 スケールアップした新演出 で全国巡回します。 原作：今日マチ子 作・演出：藤田貴大 会場：プレイハウス

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容に変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:演劇舞踊(2)

事業名	会期	概要
NODA・MAP主催 東京芸術劇場共催公演(作品未定)	2022年夏	東京芸術劇場芸術監督の野田秀樹作・演出・出演のスケールの大きな演劇公演を上演いたします。 会場：プレイハウス
『気づかいルーシー』	2022年8月	当劇場が2015年(平成27年)に初演し2017年(平成29年)に再演した、子供も大人も楽しめるオリジナル音楽劇の再々演。原作は松尾スズキの傑作絵本。これを劇団はえぎわ主宰ノゾエ征爾が、歌と踊りで観客を巻き込む、オリジナル音楽劇として舞台化したものです。ノゾエは松尾の愛弟子でもあり、岸田戯曲賞受賞の異才。ノゾエ流の楽しい仕掛け満載のステージが帰ってきます。 作：松尾スズキ 演出：ノゾエ征爾 会場：シアターイースト
劇団チョコレートケーキ主催 東京芸術劇場共催 5演目同時連続上演	2022年8月～9月	日本の近現代史に題材を得たオリジナル作品の上演で高い評価を集める劇団チョコレートケーキ。戦争と人間を歴史的視点で考察する代表作『追憶のアリラン』『帰還不能』『無畏』『〇六〇〇猶二人生存ス』に、新作を加えた連続上演を2会場を同時に使用して行います。 作：古川健 演出：日澤雄介 会場：シアターイースト、シアターウエスト
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション 『スカーレット・プリンセス』 【アーツカウンシル東京事業】	2022年10月	ルーマニアが誇る世界的演出家のシルヴィウ・ブルカレーテが、古典歌舞伎の傑作、鶴屋南北『桜姫東文章』に挑戦します。日本の古典に内在する現代にも通じるドラマトゥルギーを、グローバルな視点で舞台化したブルカレーテの『スカーレット・プリンセス』は、ヨーロッパでも大きな話題を呼びました。独自のスタイルに貫かれた演技、装置、音響、映像を斬新に組合わせた、これまでになくスペクタクルです。観る者の魂を深く揺さぶる舞台をルーマニアより招聘します。 会場：プレイハウス
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション 世界の舞台、映像配信 【アーツカウンシル東京事業】	2022年10月	東京芸術祭2021で上映して好評を博した『太陽劇団シネマアンソロジー』。この企画に新たな上映作品を加えた新プログラムを紹介し、海外の優れた舞台作品に、より広いファンを獲得することを目指します。またオランダの演出家イヴォ・ヴァン・ホーヴェによる人気の高い映像作品等も同時上映します。 会場：シアターイースト
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション 山本卓卓×北尾亘 『となり街の知らない踊り子』 【アーツカウンシル東京事業】	2022年11月	現代社会におけるコミュニケーションの行方を独自の手法で描き出す劇作家・山本卓卓と、ドラマ性に満ちたファンタジックなダンスが持ち味の振付家・ダンサー北尾亘がコラボレートした『となり街の知らない踊り子』。日本各地や海外で上演を重ねて好評を得てきた傑作を、新たに“2022年東京版”として上演します。 会場：シアターイースト

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場: 演劇舞踊(3)

事業名	会期	概要
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション プルカレーテ演出 佐々木蔵之介主演作品 「守銭奴」 【アーツカウンシル東京事業】	2022年11月～12月	ルーマニアを代表する鬼才演出家シルヴィウ・プルカレーテの「 カーレット・プリンセス 」来日公演に続き、同氏演出、日本人俳優による新作を「東京芸術祭」で上演します。2017年「リチャード三世」以来交流を続ける 佐々木蔵之介 と再びタッグを組み、歌舞伎や文楽等、日本の伝統芸能から得たアイデアも盛り込んだ創造活動が期待される注目の公演です。 演出：シルヴィウ・プルカレーテ 会場：プレイハウス
二兎社主催 東京芸術劇場共催公演	2022年11月～12月	日本社会の諸問題を生活者の視点から描き、高い評価を得る永井愛。一作一作の質の高さ、社会と人間の深層に迫る巧みなドラマづくりが支持を得て、多くの演劇賞を受賞しています。その 永井が主牽する二兎社の公演 を、共催致します。 作・演出：永井愛 会場：シアターイースト
芸劇dance 田中泯ダンス『外は、良寛』	2022年12月	孤高のダンサーながら全世界のアーティストからコラボレーション希望が絶えず、いっぽうで存在感ある俳優としても活躍する田中泯。盟友でもある博覧強記のクリエイター松岡正剛と組んで2020年に上演した『村のドン・キホーテ』は各界から絶賛されました。今回は 田中泯・松岡正剛コンビ にクロスジャンルで活躍する 現代美術家の杉本博司 を迎えて「良寛」に迫る新作ダンスに挑みます。 会場：プレイハウス
ホリプロ主催 東京芸術劇場共催公演	2023年1月	30歳代の個性派女優と女性ならではの視点で注目作を生み出している 女性演出家との初タッグで挑む音楽劇 です。 会場：プレイハウス
東京演劇道場生出演公演	2023年1月	野田秀樹芸術監督率いる「東京演劇道場」は2018年に行われたオーディションにてメンバーを募集しました。2020年には、野田の傑作『赤鬼』を4チームによる競演で上演し、それぞれの個性を發揮した演技が注目を集めました。2021年には「東京演劇道場 the 2nd」として第二期生を募集。 東京演劇道場公演第二弾となる今回は一期生・二期生のメンバーによる新作公演を実施 します。 会場：シアターイースト
まつもと市民芸術館主催 東京芸術劇場共催公演	2023年2月	まつもと市民芸術館総監督である串田和美が、4期20年にわたる任期を終える前の最後となる作品 。今回は演出はせず、主演俳優に専念して挑みます。 出演：串田和美、他 会場：シアターウエスト

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigekij.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊(4)

事業名	会期	概要
北九州芸術劇場主催 東京芸術劇場共催公演	2023年3月	いつかは消えてしまう“個人の記憶”を後世へ継承していくことを目的に、地域で活動する若手劇作家とともに高齢者の方々へインタビューを続け、舞台づくりをしてきた北九州芸術劇場。同劇場が、若手劇作家たちが執筆し蓄積してきた記憶の物語を元に、新たに“地域性”や“歴史的エピソード”を盛り込み、“街の記憶”を紡ぐ物語として新作を上演します。 作・演出：内藤裕敬 会場：シアターイースト
宮崎県立芸術劇場主催 東京芸術劇場共催公演 「新かぼちゃといもがら物語」シリーズ 『神舞の庭』	2023年3月	日本を代表する劇作家を招き、宮崎を舞台に“今を生きる”人々の営みから、新しい物語を紡ぐ宮崎発信の創造事業は全国的にも注目を集めています。2020年(令和2年)に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった東京公演に、満を持して挑みます。 作：長田育恵 演出：立山ひろみ 会場：シアターウエスト
木ノ下歌舞伎 オンラインレクチャー	通年 (年間3回予定)	令和3(2021)年度に3回配信し、好評を博した、名作歌舞伎の舞台となった江戸・東京の地をテーマとした「歌舞伎ひらき街めぐり」。この企画を継続し、木ノ下歌舞伎主幸・木ノ下裕一の監修によるオンラインレクチャーをおこないます。 収録：シンフォニースペース、リハーサルルーム他
芸劇dance ワークショップ 『未来の踊りのためのプログラム2022』	通年	広く舞踊芸術に関わる創造性を促進するために、より活発な取り組みを提案してきたアーツカウンシル東京のトライアル事業を東京芸術劇場が引き継いで発展的に展開します。「座学」と「ラボラトリー」二つのプログラムを柱とし、ダンス分野にとどまらない表現者を講師として招き、舞踊芸術の将来的な在り方を思考と実践の両輪で見据え、深めていきます。 会場：リハーサルルーム、水天宮ピット他
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督が開設した、次代を担う芝居人の育成を目指す俳優や演出家等演劇人の修行・交流の場。国内外から講師を招き、ワークショップ等を継続的に行っていきます。 会場：リハーサルルーム 他
都民半額観劇会	通年(年4回) (春、夏、都民の日記念/秋、冬)	都民に都内劇場で開催される質の高い作品を低廉な料金で観劇できる機会を提供し、東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すとともに、将来の演劇人口の裾野を広げ演劇界の活性化に寄与します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:演劇舞踊(5)

事業名	会期	概要
アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエーション	通年	舞台芸術におけるアジアの創造的ネットワーク「We Art Together」を構築するため、アジア各地域においてプロフェッショナルなプロデューサーを育成することを目指します。台湾国家两厅院、シンガポール エスプラナードシアター、韓国国立劇場と東京芸術劇場の協働により、若手プロデューサー発の企画を国際共同制作する3年計画のプロジェクトです。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(1)

事業名	会期	概要
レクチャー(技術セミナー)	通年	舞台芸術の奥深さやその仕組みを知り、劇場をもっと楽しんでいただくための講座を開催します。 舞台技術の実践を見ながら学ぶ講座等、劇場ビギナーから専門家まで、多様な人々へ参加の機会を提供します。 会場：東京芸術劇場内
ワークショップ	通年	国内外の優れた講師を招き、またはオンラインを活用し、プロフェッショナルを目指すワークショップ・ファシリテーターやエドゥケーターたちの学びの場を提供します。その成果としてファシリテーターたちは子供や障害者、外国人等、誰もが劇場に親しむための企画を作成し、様々なワークショップや講座を開催します。 会場：東京芸術劇場内
バックステージツアー／劇場ツアー	通年	「バックステージツアー」では、普段は見ることのできない劇場内各所を技術スタッフがご案内します。舞台機構・照明・音響等の体験型デモンストレーション等を行い、知られざる劇場の魅力を発見していただきます。 「劇場ツアー」では、劇場見学の他、劇場内の美術品を紹介したり、屋上散策を体験する等、ツアーガイドが劇場のエピソードをたっぷり盛り込みながらご案内します。 会場：東京芸術劇場内
人材育成・教育普及 (共催事業、インターン) 【一部、アーツカウンシル東京事業】	通年	専門性の高い劇場の特質を生かした人材育成事業を拡充するため、大学や高校と連携し、インターンの受け入れや公演事業のサポート等、次世代の専門人材を育成します。
多文化共生とアートに関するリサーチ	通年	日本人と外国人が、東京の発展に向けて創造的に参加・活躍していくために、アートによる多文化共生の優れた実践の調査研究を進めます。世界をリードするグローバル都市実現のため、多様性を生かした創作活動を推進し、芸術を用いた相互理解を目指します。
アトリウムの賑わい創造事業	通年	劇場前広場やアトリウム等のパブリックスペースを活用し、大道芸やストリート・アート等、様々なプログラムで劇場周辺の賑わいを創出します。また、地元豊島区や池袋エリアの地域主体で実施されるイベントとの連携や、芸術文化の役割・アートを使った街づくりをテーマとしたレクチャー等も開催します。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(2)

事業名	会期	概要
インクルーシブダンス・プロジェクト	通年	インクルーシブダンス「東京のはら表現部」連続ワークショップ及び国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)との共催による舞台作品「Breakthrough Journey」の上演を通し、障害者の芸術文化活動参加機会を創出し、 優れた身体表現力をもつインクルーシブダンスの表現者を育成、障害者と健常者によるインクルーシブな身体表現の価値を発信 します。また、「東京のはら表現部」では、障害者による身体表現活動の指導者を育成するため、アウトリーチ活動も行っています。
ホワイトハンドコーラス	通年	「ホワイトハンドコーラス」は、 障害の有無にかかわらず子供たち誰もが参加できる音楽活動 です。東京芸術劇場が一般社団法人エル・システムジャパン、エル・システムコネクトの2団体と共に事業を実施しています。盲学校に通う子供たちによるコーラスのワークショップ等、視覚や聴覚障害などを持つ子供たちが音楽を通してインクルーシブな表現活動を行います。
社会共生セミナー	通年	共生社会の実現のため、芸術文化を通して地域の包摂的環境の推進を図るためにはどうすべきなのか 、公立文化施設関係者を主な対象として、レクチャーや講座を実施します。文化による多様な価値観の形成と、それを担う公立文化施設職員の知識習得の場を設けます。

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

電話 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

東京都歴史文化財団共通事業

事業名	会期	概要
だれもが文化でつながる国際会議	2022年6月28日 ～7月6日	芸術文化を通じたダイバーシティ推進を目指し、 芸術文化を通じた「相互理解と共有」「横断的な協働」「自律的な連携」を実現する、国際会議・ショーケース・短期集中キャンプ・ネットワーキングを含む国際カンファレンス を総合的に開催。多様な主体による協働と対話を促進する本カンファレンスを通じ、 これからの社会包摂のあり方、多様性の包含をめぐる芸術文化による実践を広く紹介 していきます。 会場：東京都美術館 他

※この内容は2022年3月3日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都歴史文化財団 事務局広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

公益財団法人東京都歴史文化財団

事務局 総務課 企画広報係

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-5610-3503 <https://www.rekibun.or.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、実施日時等を変更する場合がございます。

最新情報は公式サイトでご確認ください。